

備前市 事務事業 評価表

事務事業名	男女共同参画啓発事業		コード	05-02-02-01
			担当課・係	人権啓発課 男女共同参画係
			担当者	富田 節子
事業実施期間			電話	0869-64-1823
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	住民主体の協働のまちづくり		
	中項目(基本施策)	ふれあい豊かなまちづくり		
	小項目(施策)	男女共同参画社会の形成		

事業について	男女共同参画のまちづくりの推進に関し、様々な取り組みが行われてきたが、社会的につくられた性別の意識や、性別による固定的な役割分担に起因する課題は今なお存在している。市としては、男女共同参画のまちづくりに関する施策を定め、男女が共に支え合い、輝いて生きることが出来る男女共同参画のまちづくりを推進する。	
目的 (何のために)		
対象 (誰・何を対象に)	市民・行政・事業者	
内容	男女共同参画に関するイベント、セミナー、出前講座の開催や標語の募集、広報紙等により男女共同参画の啓発を行う。また、男女共同参画交流サロン(ウイズびぜん)の利用を促進し、市民への情報提供を行う。	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業の結果	17年度		18年度		回数など(単位)			
実施項目	回数	単位	回数	単位	回数	単位		
きらめきフェスタ	参加人数	650人	参加人数	700人				
啓発標語募集事業	応募者数	2,552人	応募者数	2,692人				
ウイズびぜん運営事業	利用者数	2,225人	利用者数	2,229人				
講座等啓発事業	参加人数	386人	参加人数	331人				
広報啓発事業	広報掲載件数	13件	広報掲載件数	13件				
事業費 (単位：千円)	事業費		事業費		財源			
	直接事業費	1,578	間接補助金等	728	直接事業費	1,901	間接補助金等	629
	人件費	6,500	受益者負担		人件費	6,385	受益者負担	
	合計	8,078	一般財源等	7,350	合計	8,286	一般財源等	7,657

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

結果指標	必要人員	0.68人	0.65人
	結果指標名	ウイズびぜん利用者数	ウイズびぜん利用者数
	結果指標量	2,225	2,299
	対前年比	-	103.33%
結果指標	活動にかかるコスト	1,998,900円	1,854,500円
	単位当たりコスト	898円	807円
	結果指標名	標語応募者数	標語応募者数
	結果指標量	2,552	2,692
結果指標	対前年比	-	105.49%
	活動にかかるコスト	1,019,000円	1,003,500円
	単位当たりコスト	399円	373円

事業の目的やその数値目標である結果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事業の成果	男女共同参画へに意識づくり。市民がいままで当たり前とされていた慣行や慣習を男女共同参画の視点に立って見直し、人権の理念に基づいた男女共同参画の意識啓発の推進を図ることにより、備前市の男女共同参画のまちづくりが推進できる。	
成果指標名	地域や職場で男女が対等に活躍できていると感じている市民の割合	式又は説明 市民意識調査による
成果指標	17年度	18年度
	成果指標量	13.90%
	対前年比	0.00%
到達目標値	20.00%	到達目標年度 平成23年度

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等： <input type="checkbox"/> 男女共同参画社会基本法・備前市男女共同参画まちづくり条例 <input type="checkbox"/>	妥当性評価<A~E> A 課題認識 男女共同参画社会基本法第9条、備前市男女共同参画まちづくり条例第4、5条に市の責務が定められており、妥当な事業である。男女共同参画の意識を地域に根付かせるために、市が積極的に働きかけ、また、全庁あげて、あらゆる施策の実施に、男女共同参画の視点を反映させるよう取り組んでいる。市民も積極的に関与し、ニーズも高い事業である。
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大きい	
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している	効率性評価<A~E> B 課題認識 講座、講演等にNPOまた国、県、市の職員、また関係機関との共催による実施など、民間活力を利用し、経費削減に努めている。また、「きらめきフェスタ」の企画、ウイズびぜん企画、運営、ウイズびぜん企画、ウイズびぜん企画・編集は市民参画で実施、市民のニーズが反映しやすい取り組みとなっている。また、参画している市民にとって、計画立案に参加しやすい事業でもある。
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> B 課題認識 講座等の開催、「きらめきフェスタ」などの開催、広報等の発行を通じて男女共同参画の意識や市民の意識、役割等の認識を広げること、地域全体の意識高揚へ寄与できる。男女共同参画は、誰にも関連する身近な問題でもあり、市民、ボランティア、企業が共同で取り組むよう基本計画にパートナーシップの考え方を織り込んだ。
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

平成19年度の状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明 平成18年度に策定した「備前市男女共同参画基本計画」に基づき、市民の親しみやすく、趣旨の伝わりやすい効果的な啓発を行う。特に平成19年度は、男性や高齢者に共感してもらえるような取り組みをし、備前市全体の意識の変化につながるような啓発を継続して行う。
目標値	結果指標量 2,500人	結果指標量 2,700人	結果指標量 15.0%

総合評価	平成17年度に実施した市民意識調査では、いまだ、性別役割分担意識や不公平感は根強く残っており、今後は様々な啓発手段により、広く市民各層を対象として、継続的に啓発事業を実施し、意識啓発を図ることにより、備前市の男女共同のまちづくりを実現させる。	評価区分 <A~E> B
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
--------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

平成20年度以降の改善事項	評価の視点 改善内容 改善時期 改善により期待される効果
妥当性	企画段階への男性参加による講座の対象者拡大 平成19年度 男性の参加を促し、幅広い年齢層の啓発。
有効性	イベントの充実した企画内容の工夫 平成19年度 効果的な啓発、課題が見えやすく、発信性の高いイベントにできる。
有効性	市民等の協働の企画 平成19年度 市民の目線に立ち、かつ意識の醸成効果の高い講座を企画できる。